

会 議 録

会議名称	タウンミーティング (所司原)	記録者	健康福祉課 課長補佐
日 時	平成29年12月12日(火) 午後7時～午後8時40分		
場 所	所司原集会所		
出席者	<p>町 : 町長、教育長、参事、財政課長、企画振興課長、 税務課長、健康福祉課長、農林水産課長、地域整備課長、 学校教育課長、</p> <p>区長会 : 所司原区長 住 民 : 20人</p>		
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 町長あいさつ 3 出席者紹介・開催趣旨説明(参事) 4 町政報告(財政課長、企画振興課長) 5 意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校・保育所統廃合について(学校教育課長・健康福祉課長) ・下水道使用料について(地域整備課長) ・地区等からの要望(農林水産課) 6 フリートーク 7 閉会 		
会議結果	<p>【小学校・保育所統廃合について】</p> <p>●質問1 話を聞いていると、廃校にする統合するとかしか聞こえてこない。特色ある学校にすれば、都会から来る人もいるのでは。そのような考えはあるのか。</p> <p>○(町長) できるならば、そうしていきたい。例えば、宝達小学校でアサギマダラで特色ある活動をしていて道徳の副読本に採用された。各小学校でも、色々な活動をしている。他所の人がその活動を認めてくれれば、他市町からも来てくれるのではないか。地域の人たちにも良い学校だと思ってもらうためにも特色は大事だと思う。</p> <p>●質問2 この資料には、統廃合しかないという強い気持ちが表れていると思う。ここにいる大半の人は、複式学級を受けていると思う。子どもの数と教育活動を一緒に考えるのは良いことなのか。できるものなら現状維持で、先生と子どもとの関わりを通じて成長していく姿があるべきではないか。</p>		

○（町長）

小さい学校であれば、人と人との触れ合いも濃く良いものがあるのかなと思う。この資料は、必ずしも、「しなければならぬ」等の表現で作ったわけではない。経済性や合理性だけで、学校の在り方を決めてはいけないと思う。皆さんから意見をいただいた上で、決めたいと思う。

●質問3

資料をみると町の収入も含めて全て右肩下がり、このまま行けばこの集落も無くなってしまう。子どもだけの問題ではない。地域の存亡にも関わってくる。それも含めて学校の統廃合を考えていく必要があるのではないか。税金が町に入ってくるように、法律を変えるように働きかけて、地域で幸せに生きられるだけの行政サービスの予算を確保すべきではないか。

○（町長）

現状を打破してほしいとの意見も受け止めて、色々な問題がある中で目標を持って打開していくという気概を持って、政策に取り組んでいきたい。

【下水道使用料について】

●質問4

町内の地区で、水源（自己水）を持っているところと手取川（県水）から水を引いているところがある。どちらの経費が安いのか。

○（地域性課長）

県水は要望を続けている結果、単価が徐々に下がってきているが自己水と比べると割高であるかもしれない。しかし自己水も井戸を更新していかないといけないので、いずれにせよ費用がかかるし、井戸が駄目になっても県水を受水していれば対応できることもある。どちらがいいかは、正直、申し上げられない。

●質問5

ここの地区は、旧志雄町のときに作った井戸で下石から水をあげている。上水道が作られたときに、地元の負担が結構あった。

○（地域整備課長）

今後も、上水道が続けられるような整備をしていかなければならないと思う。

【地区等からの要望】

◆イノシシによる林道被害

林道所司原線、大葉谷線において、イノシシが路肩を削って側溝が

土砂で埋まり、排水機能が失われ、大雨時には道路上にあふれ、交通などに支障が生じている。どのような対策を考えているのか。

○（農林水産課長）

現在、町ではイノシシの獣害対策として、『電気柵・金網柵による防除』、『檻設置による駆除』、『緩衝体整備事業による出没の抑止』を行っています。

電気柵は、イノシシが電気柵に触れて通電することでショックを与え、“ここに近づくと怖い”ということを植え付ける効果があります。主に田畑などの農地にイノシシを入らせないようにするために用いています。金網柵は、主にため池堤体の保護のために設置しています。設置の際には、2分の1の補助があります。

檻による駆除は、檻に餌である米糠を設置してイノシシを誘因して捕獲します。主に集落付近の里山などに設置し、農業被害はもちろん人的被害が未然防止できるような有害鳥獣捕獲隊の協力を得ながら進めています。捕えたイノシシは食肉としても利用することができます。狩猟免許取得の際には免許の種類に応じ、助成があります。

これまでは、主にこのふたつの方法でイノシシ対策を行っていましたが、今年度から緩衝帯整備事業による出没の抑止を行っています。この事業は、クマ・イノシシなどの野生獣の出没を「抑止」するために、集落周辺の里山林において、森林の見通しを良くする伐採や藪の刈払い等を行い、人里に野生獣が出没しにくい環境整備を行うもので、複数の集落が連携し広域的に進めることでより効果が発揮されます。今年度よりモデル地区として、県の協力を得ながら5カ年で森本区から宝達区までの広域農道沿いに緩衝帯の設置を進めています。設置後の維持管理については、集落又は任意の管理団体で行います。

町のイノシシ対策は、この3つの方策で進めます。

林道被害に関しては、林道の状況等を確認し、側溝の排土、路面敷き砂利補修などを実施します。

●質問6

緩衝帯 40mというのは水平距離か、それとも法面に沿っての距離か。

○（農林水産課長）

だいたい法面に沿っての40mです。

●質問7

森本地区のものをみると、これで40mなのかと思う。

○（農林水産課長）

森本では、緩衝帯はまだ進んでいない。坪山などで地権者の承諾を得た状態で、これから冬場にかけて本格的に実施する。

●質問8

これで猪は浜の方に行かないということか。

○（健康福祉課長）

一応そうなるが、現在、浜の方でも猪は確認されている。そこに居ついた猪は捕獲をするしかない状況です。

●質問 9

そうなるが緩衝帯を作っても意味がないのではないか。

○（町長）

全く効果が無いということはない。色々な方法を組み合わせて対策を講じていきたい。

○（農林水産課長）

11月下旬に北國新聞で、金沢市の辰巳の方でほとんどの米が猪の被害にあったという記事が掲載されていた。周囲の休耕田から藪の刈払いを地域で行って、これである程度の抑止効果があるとされている。

●質問 10

鹿については対策を講じているのか

○（農林水産課長）

鹿の被害はまだ出ていない。

●質問 11

括り罠の免許を持っている人が、結構な数の猪をとってその地区の猪が減ったということを知ったことがある。宝達志水町では括り罠を使えないのか。

○（農林水産課長）

使えないわけではないが、括り罠はあくまで狩猟目的である。括り罠に掛かった猪を仕留めるには鉄砲しかない。鉄砲を撃つときは民家から 200m離れていないと使えない。また括り罠に掛かった猪は動き回り危険がある。檻なら電気ショックで仕留めることができる。

●質問 12

所司原なら 200m以上の距離が取れるのではないか。

○（農林水産課長）

法律上は狩猟期間なら狩りをできるが、それ以外の期間は猪だけではなく違う獣が掛かったとき、例え熊が掛かったとしても、山に行って放獣をしないとイケない。

●質問 13

中山間地では、そのような甘いことを言ってもらえないのが実情だ。ここにいるみんなの家の周りは、猪が掘り返していると思う。それを何とかしてほしい。法律を優先させることの虚しさ、現実、中山間地に合う法律はどこにも無いのではないのか。自然豊かなところにいる

と、法律と日常生活のギャップが大きい。このような地域をたくさん抱えている行政としては、地域の意見が国に届いていくような法改正とか、そういうものの接点になっていかないと。こういう状況を改善する方策を、町長はじめ行政の方々をお願いしたい。自然の中で満たされて、良かったなと思いつつ一生を終えたい。僕らの実態にあった法律を作って、国民全体が平等に生きて幸せに死んでいく。そこを絶対に受け止めて欲しい。

○（町長）

このまま現行制度でサービスが悪くなって、こんなところにいたくないとなってしまっただけではいけない。猪のことは関係各所に要望していく。制度上の矛盾、人間の平安を守るものになっていない。声を大きくして積極的に働きかけていきたい。

●質問 1 4

林道の草刈りを、町でやってもらって大変助かっているが、その後始末を考えながら作業をして欲しい。雨が降ると側溝が詰まって、路面の方に水が流れて車の轍が洗掘されていく。気を付けて欲しい。

○（農林水産課長）

分かりました。

●質問 1 5

ゴミ袋の値段は、上げる予定があるのか。現状維持がいい。

○（参事）

今の料金は、平成 24 年に改定を行った。先ほどの下水道でも 3 年で見直しをすることを説明した。このような使用料は、3 年ごとに見直しをしたいと思っている。見直しは必ずしも値上げをするということではなく、どのような料金が適正なのか検討をするということ。平成 24 年の次の見直しのときは、ゴミの量などから値上げをしない判断をした。今度は平成 31 年度に見直しを検討する年になる。ごみの量などを含めてどのような料金体制にしたらいいかを考えていきたい。

○（町長）

役場でも、少しでも安くゴミ袋を用意できないか考えている。皆様のご協力も大事なこと。

○（参事）

水切りをよくしてくださいと、皆さんをお願いしている。効果があると聞いている。

●質問 1 6

年 3 回ほどの草刈り等を区民総出で行っているが、人数が減ってきて十分な区道管理が難しくなってきた。区の環境保全の観点からも何らかの形での助成の予算措置をとれないか。

○（町長）
大事なことなので考えたい。

●質問 17
団体保険で、道路愛護デーや河川愛護デーは対象になっていないのか。

○（参事）
町の主催事業なので、町の総合賠償保険で対応することになる。集落の事業は区長会の保険で対応する。いずれにせよ総務課に連絡をして欲しい。

【フリートーク】

●質問 18
氷見市から土砂災害、大雨注意報などのメールがたくさん入ってくる。手続きをしていないのに、なぜ氷見市からメールが入ってくるのか。

○（町長）
原因を調べてから、区長を通じてお知らせしたい。